

カフェ公民館

～カフェでいろんな問題を共に考えていこう～

今回は、教育問題

6月23日〔土〕午後7時～9時 クロスロードカフェ
有限会社 しえあーど
特定非営利活動法人 地域生活を考えよーかい
李 国本 修慈

しょうがい児・者といわれる方々の支援現場から

1. ふたつの視点から・・・

a. 「教育」を受ける権利としてのこと

b. そもそもの「しょうがい」などといわれることについて

2. こんなにある、「そんなおかしな」できごと

3. 少数だからが故に、こんな社会になったのかしら？

4. 福祉基礎構造改革の中で見た「教育」の意味

5. その他、いろいろ

1. ふたつの視点から・・・

a. 「教育」を受ける権利としてのこと

教育基本法で全ての国民が教育を受ける権利を保障されているにもかかわらず、障害が重いとされる子どもたちは、「就学の猶予・免除」という言葉で、1979年の養護学校義務制度実施まで、その機会を奪われてきた。

更に、今も、医療的ケアが必要な子どもたちは、その機会を失うことも少なくない。

b. そもそも「しょうがい」などといわれることについて

今回、「教育」という視点で、私たちの立場(支援者あるいは共生者)から考えると、あらゆる場面での「差別」を生む理由こそを考えないといけない気がする。

2. こんなにある、「そんなおかしな」できごと (医療的ケアが必要な場合)

遠く離れた学校に行かねばならない
おかーちゃんこけたら(倒れたら)学校に行けない
兄弟姉妹が倒れても、大抵、同様
宿泊学習・修学旅行も・・・
命すら助けてもらえなかったり・・・
などなど、けっして、学齢期のみのことではない

3. 少数だからが故に、こんな社会になったのかしら？

全人口の中での割合(障害者白書より) (単位:万人)

	総数	在宅者	施設入所者
身体障害児・者	351.6	332.7	18.9
身体障害児 (18歳未満)	9.0	8.2	0.8
身体障害者 (18歳以上)	342.6	324.5	18.1
知的障害児・者	45.9	32.9	13.0
知的障害児 (18歳未満)	10.3	9.4	0.9
知的障害者 (18歳以上)	34.2	22.1	12.1
年齢不詳	1.4	1.4	0
精神障害者	204	170	34

4. 福祉基礎構造改革の中で見た「教育」の意味

例えば、コムスの例

規制緩和の真の意味とは？

「儲からない筈」という介護報酬単価

善意だとか奉仕・自己犠牲を基に考えられた制度設計

上記のコトを「福祉」の中に刷り込むのは違う

善意だとか優しさは、人にこそ備わるもの

そんな精神を育てられなくなった社会と教育

5. その他、いろいろ

イメージすること、できること

相談支援のこと 赤ちゃんポスト

「はたらき」の意味、あるいは価値

接点の数

首長の存在と在り方、粹な行政マンは現れないか？

権利条約、差別禁止法

なにより「ふつう」の意味